

# 新しい 道徳

## 指導書のご紹介



内容解説資料

この資料は、平成31年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

東京書籍

## 目次

教師用指導書セット内容と紹介	1
研究編抜き刷り 3年「足袋の季節」	2
ワークシート編抜き刷り 3年「足袋の季節」	8
DVD-ROMの紹介	9
ホワイトボード用ペンの紹介	10
指導編(朱書)抜き刷り 3年「足袋の季節」	11



## 教師用指導書セット内容と紹介

### ● 教師用指導書 研究編 (各学年1冊) B5判

総論と各論の2部構成です。

総論では、学習指導要領の解説や指導計画作成のポイント、指導法の紹介のほかに、評価についても詳しく解説しています。先生方の「更に詳しく知りたい」「道徳の指導について、もっと勉強したい」というご要望にお応えできる内容になっています。

各論には、毎時の指導を分かりやすく示します。「主題設定の理由」や「板書例」「展開例」など、これまでの指導案で示してきた項目に加え、生徒を深い学びに導く方策を示す「『主体的・対話的で深い学び』のために」や、そのために必須の補助発問や切り返しの発問なども併せて図解した「発問構成」の項目もあります。各時間がイメージしやすいつくりになっています。また、教材によっては、授業やその教材の参考資料を載せています。

### ● 教師用指導書 指導編【朱書】(各学年1冊) AB判

教科書と同じ表紙で、教科書と同じ紙面に解説を加えています。板書例も示しますので、これだけで授業展開の全体像を把握することが可能です。

なお、本書のみの別売りもご準備します。

### ● 教師用指導書 ワークシート編【道徳ノート】(各学年1冊) B5判

全教材ごとのワークシートのほかに、「ACTION!」の活動用ワークシートや、オリエンテーションのときに使えるものも用意します。

メモ帳のようにはがし、コピー原紙としてご利用いただけるようになっています。

### ● 教師用指導書 研究編付属DVD-ROM

\*詳細は、p.9をご覧ください。

### ● 場面絵DVD-ROM

\*詳細は、p.9をご覧ください。

### ● 朗読CD

\*詳細は、p.9をご覧ください。

\*企画中のため、仕様や内容は変更になる場合があります。

\*指導編(朱書)は、別売りもあります。



本書は、指導書見本として、3年「足袋の季節」について、p.2～7に研究編を、p.11～13に指導編(朱書)を掲載しました。併せてご覧ください。

指導内容 D (22) よりよく生きる喜び

関連する指導内容 A (3) 向上心、個性の伸長

ねらい

許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感することで、自らの弱さ醜さを克服し、人間として強く生きていこうとする心情を育てる。

主題設定の理由

(1) **ねらいや指導内容について** 人は、ときとして人間のもつ弱さや醜さから誘惑に負け、過ちを犯したり失敗したりすることがある。「こうありたい」と思いながらも低きに流され、でも、「これではいけない」と弱さを克服していこうとする強さも併せもっている。ありのままの自分を謙虚に見つめ、弱さを乗り越え人間としてよりよく生きようとする誇りある姿に焦点を当て、生きることへの喜びを感じ取れるようにしたい。

(2) **生徒の実態について** 中学生の時期は誘惑に負けたり、やすきに流れたりする傾向が見られる。その中で自分自身に自信を失ったり、劣等感にさいなまれたりする。しかしその一方で、理想とする生き方に関心が高まってくるときでもある。失敗を素直に受け止め、でもそのことにこだわりすぎず、むしろそれを糧とすることで、弱さを克服し、生きることの喜びを見いだすようにしたい。

(3) **教材について** 足袋が欲しいあまりに餅売りの老婆から釣り銭をごまかしてしまう作者は、後悔と自責の念に苦しむ。老婆の死を知り、自らの人格を回復することができなくなる。その後、老婆からもらった心を支えに強く生きていく。

作者が自分の犯した過ちを謙虚に受け止め、前向きに生きていこうとする生き方は、生徒に深い感動を与える。また、生徒もこれに似た経験をかなり小なり持ち合わせていると思われるので、すぐに作者の気持ちに入り込むことができるだろう。

【主体的・対話的で深い学び】のために

中心発問③において、グループでの話し合いを行う際、教科書巻末のホワイトボード用紙を使う。各人の考えを記述し、みんなに見える状態にすることで、考え方の違いや深さについて確認したり見返したりすることができ、より深く考え進めることが可能になる。時間配分に配慮しながら、このような方法を使いたい。

評価

許せない自分を受け止めながら、自らの弱さや醜さを克服して、前向きに生きていこうとする作者の姿に共感することができたか。

評価の方法と場面

- ・中心発問③におけるグループでの話し合い（机間指導、ホワイトボード用紙の記述）。
- ・弱さを克服し強く生きていこうとする志向性（ワークシートの記述）。

生徒を認め励ます評価（学習状況の把握）の例

〇〇さんは、自らの弱さや醜さを克服して生きていこうとする作者の姿に、自分の経験を重ねて考えていた。

漫画解説と概要

「**聲の形**」(7巻90ページ) 大今良時、講談社。  
小学生のとき、聴覚に障害のある少女・西宮硝子(にしみやのりこ)をいじめてしまった石田将也(いしだまさや)は、彼女が転校後、今度は自分がいじめられるようになる。その体験から、高校生になった将也は、硝子にわびるために会いに行く。教科書に示した場面は、小学校のときのクラスメイトが、「(自分は)まるで変わってない」と言ったことに対する将也のセリフ。

作品は、「人と人が互いに気持ちを伝えることの難しさ」の答えを作者自身が見つけだせなかったため、「読者に意見を聞いてみたい」という気持ちで描いたという。

『週刊少年マガジン』にて2013～2014年まで連載された。単行本は全7巻。

全日本ろうあ連盟監修で道徳教材化された30分の実写DVDと全国公開されたアニメ映画がある。

他教科との関連

社会科【公民的分野】私たちと経済

【歴史的分野】近代の日本と世界

数学 関数

準備するもの

ホワイトボード用紙、水性ペン、磁石。

出典 [PHP No.177] PHP 研究所(文部省「道徳の指導資料第1集」)

作者 中江良夫(1910～1986) 劇作家。北海道室蘭生まれ。

発問構成

大福餅を買いに行き、おばあさんに「50 銭玉だったね。」と言われる。

・思わず「うん。」とうなずき、その場を立ち去っていく作者は、どのようなことを思っただろう。

(これで足袋が買える。)  
(おばあさんをだましてしまった。)  
(だれだって、このような状況なら「うん」と言ってしまうのでは。)

自責の念 ↔ 甘い考え

おばあさんを訪ねるが、既に亡くなったと知る。

・おばあさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしようがなかった。」のは、なぜだろう。④

(補) 釣り銭を返そうと思いついても、返せないで悩んでいる作者の気持ちを考えてみよう。

(早く来ていれば謝ることができたのに、もうどうしようもない。)  
(おばあさんの死は私のどのような言葉も受け入れてはくれない。)

(釣り銭をごまかしてごめんなさい。)  
(おかげで今は初給料をもらうまでになりました。感謝しています。)

(補) おばあさんにどう謝りたかったのだろう。

(許せない自分を回復することができない悔しさがあった。)  
(でも、許せない自分にこだわりすぎるのもよくない。)

(補) それが言えなかったからあれほど悔しがったのだろうか。

以後、職を転々としながらも、くじけずにやり通せたと思う。

「あのおばあさんが私にくれた心を、今度はだれかに差し上げなければならぬ」と考え、作者はこの後どのような人生を歩んでいったのだろう。

(「ふんばりなさいよ」に込められた温かい心を周囲のだれかに差し上げて、喜んでもらえる人生を歩んでいった。)

板書例

弱さと向き合って  
足袋の季節

小梅での生活—足袋も買えない「五十銭玉だったね」—足袋が買える

思わず「うん」とうなずき、その場を立ち去っていく作者

「ふんばりなさいよ」

おばあさんから金をかすめ取った

「これで足袋を買って頑張りなさい」

(自責の念) (甘い考え)

おばあさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしようがなかった」のはなぜか

「今度はだれかに差し上げなければならぬ」

だれかに喜んでもらえる人生

ホワイトボード用紙

ホワイトボード用紙



展開例 (本案)

学習の流れ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>① 漫画と同じような経験を振り返る。</p> <p>① 漫画を読んで、自分にも「変わらないこともある」と思うようなことがあるか。</p>	<p>○ けんかしたときなど、自分が悪いとわかっていても、すぐに謝ることができない。</p>	<p>■ ペアでの話し合い程度にとどめる。漫画の場面との同質性を意識し、自分を変えることの難しさを感じさせたい。</p>
<p>② 「足袋の季節」を読んで話し合う。</p> <p>□ 「足袋の季節」を範読する。</p> <p>① 小樽の郵便局で働いていたとき、作者はどのような生活をしていたか。</p> <p>② 思わず「うん。」とうなずき、その場を立ち去っていく作者は、どのようなことを思っただろう。</p> <p>・ 釣り銭を返そうと思いつつも、返せないで悩んでいる作者の気持ちを考えてみよう。【補助発問】</p>	<p>○ 給料の大部分が食費で、ほかに風呂代等もかかる。</p> <p>○ 雪の中を素足で通勤しなければならぬ。</p> <p>○ このお金があれば足袋が買える。</p> <p>○ おばあさんが「ふんばりなさいよ」と励ましてくれた。</p> <p>○ お金をかすめってしまった自分が恥ずかしい。</p>	<p>■ 冬の北海道の寒さがしっかり伝わるのが肝要。</p> <p>■ 就職難の時代に、おばは働き口を世話してくれた。とはいえ、真冬に足袋を買うお金もない赤貧の生活状況を想像させる。</p> <p>■ 必要に応じて補助発問を活用する。</p>
<p>③ おばあさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしょうがなかった。」のは、なぜだろう。④</p> <p>□ ワークシートに自分の考えを書こう。</p> <p>□ グループの人の考えを、ホワイトボード用紙にまとめよう。</p> <p>□ グループごとに、発表しよう。</p> <p>・ おばあさんにどう謝りたかったのだろう。</p> <p>・ それを言えなかったからあれほど悔しかったのだろうか。【補助発問】</p>	<p>○ もう、おばあさんに謝って許してもらいたいことも、感謝の気持ちを伝えることもできないと思ったから。</p> <p>○ 初給料で果物を買って謝ろうとしたがそれがかなわず、結局自分が許せない自分のままでいなければならないから。</p> <p>○ 許せない自分にこだわりすぎれば、かえって自分を落ち込ませてしまう。</p>	<p>■ 必要に応じて補助発問を活用する。</p> <p>■ 「司会カード(教科書 p.3)」に沿って進めさせる。</p> <p>■ 自分と違う考えもしっかり聞くように促す。</p>
<p>④ 「あのおばあさんが私にくれた心を、今度はだれかに差し上げなければならない」と考え、作者はこの後どのような人生を歩んでいったのだろう。</p>	<p>○ 「ふんばりなさいよ」に込められた温かい心を周囲のだれかに差し上げて、喜んでもらえる人生を歩んでいった。</p>	<p>■ 「ふんばりなさいよ」に込められた心を他の人々にも振り向けたいという作者の利他的な姿勢に気づかせる。</p>
<p>③ 過ちや失敗に気づいたとき、人間としてどう行動することが必要か話し合う。</p> <p>① 過ちや失敗に気づいたとき、人間としてどう行動することが必要だろう。⑤</p>	<p>○ 自分の過ちにこだわって落ち込むのも、逆に、自分をかばいすぎるとよくない。とにかく前を向いていく姿勢が必要だと思う。</p>	<p>■ 決意表明にならないようにする。</p>
<p>④ 本時のまとめをする。</p> <p>□ この教材を通して、学んだこと、考えたことをワークシートに書こう。</p> <p>□ 今日の学習を振り返り、ワークシートに書こう。</p>		

展開例 (別案) : ホワイトボード用紙を活用し、主に発問一つで指導する案

[弱さと向き合う]

指導内容 D(22)よりよく生きる喜び

配分

導入

(3分)

- ① 教材とテーマ(「弱さと向き合う」)の提示。  
教員自身が誘惑に負けて自分の利益を優先させた例を紹介する。

(2分)

- ② 教材の概略説明。

(2分)

- ③ ワークシート配布と発問提示。

作者を泣けて泣けてどうしようもなくさせたものは何か?

展開

(5分)

- ① 教材範読。

(3分)

- ② 個人で考えさせる。

(10分)

- ③ 班で考えさせる(ホワイトボード用紙の使い方は生徒の実態に合うように工夫する)。

(6分)

- ④ 発表させる。

(6分)

- ⑤ 教師と生徒との対話。

考えを深める投げかけ例「泣けて泣けてどうしようもなかった作者をどう思うか。」  
「作者は弱い人間なのだろうか。」  
「作者の素晴らしいところはどこか。」

※対話のポイント

生徒からは、「後悔の念」や「自責の念」あるいは「自分の弱さ」などの考えが出ると予想されるが、その弱さと向き合おうとしている作者の強さに、人間としての気高さに気づかせるように問い、投げかけながら対話をするように心がける。

終末

(3分)

- ① 説話。

※ポイント

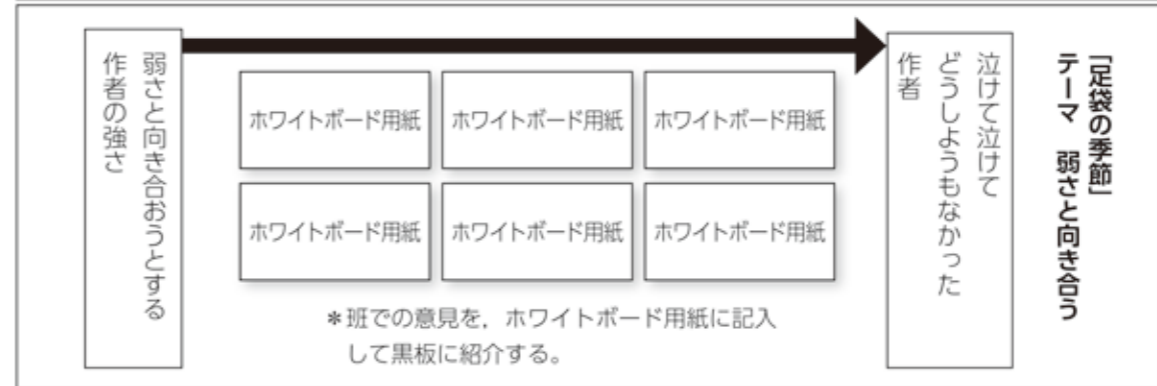
人間は弱い。しかし、その弱さと正面から向き合おうとすることができるのも、人間である。そこに人間の気高さがある。

(10分)

- ② 感想を記入させる(振り返り)。

(例)「おばあさんへ」というタイトルで、作者になって手紙を書こう。  
「弱さと向き合う」というタイトルで、授業の感想を書こう。

板書例



## 「足袋の季節」の世界

## 作品解説

本教材は、冒頭の二文が省略されているが、その中で作者は、「年をとったせいか、近ごろは特にあとをふり返ってみることが多くなった。悲しみやつらさなどの思い出は、なつかしさを加えて、今では一つの楽しさとさえなっているが、あの時あしたらよかったという悔恨は、数限りなく浮かび上がって、それがあきらめの年齢に、なおさら拍車をかける結果となっている。」と、謙虚に自らの来し方を見つめている。

## 舞台・語句解説

## ◆「今から四十年前、小学校を出るとすぐ」

作者の中江良夫は1910年（明治43年）5月3日、北海道室蘭に生まれた。小学校の卒業時期から、作中の「40年前」は1923年（大正12年）を指していると考えられる。当時の学制は下図参照。

## ◆「父は日やといの労働者」

臨時の公共事業などを担う季節労働者。1923年の日雇労働者の平均賃金（東京都）は日給2円28銭であった。

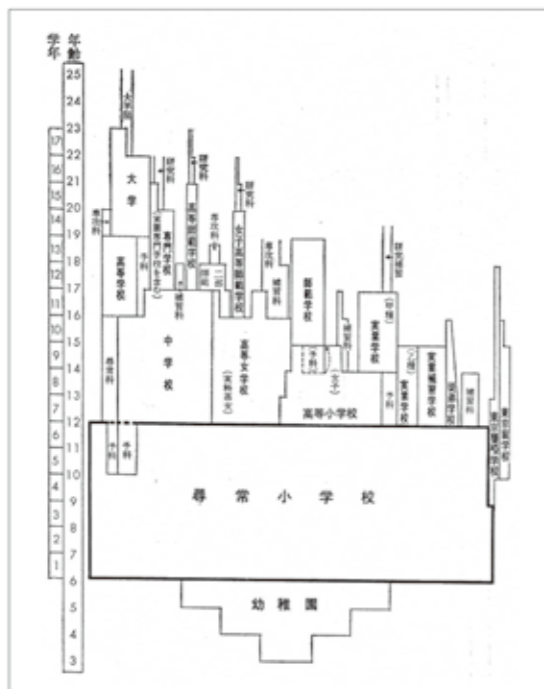


図 1911年の学制（年齢は満年齢。太線で囲まれた部分は義務教育）

◆「月給が十四円で、食費としておばが十三円五十銭を取り、残り五十銭の中で頭をかり、ふる銭に当てなければならぬので……足袋を買う余裕もなかった。」

作者の月給は、現代の価値に換算すると33,824円（公務員の初任給を参考に算出。1923年75円、2017年181,200円）。

参考として、1920年前後の東京の物の値段や料金を以下に示す。

当時の物価（1円=100銭、1銭=10厘）	
入浴料	5銭（1926年）
理髪料金	30銭（1920年）
あんぱん	2銭5厘（1923年）
牛乳180cc	8銭～10銭（1921年）
喫茶店のコーヒー1杯	10銭（1921～1923年）
食パン1斤	16銭（1926年）
白米10kg	3円4銭（1922年）
鉛筆1本	5厘（1926年）
自転車	45～60円（1919年）
野球ボール	1円50銭（1926年）
映画館入場料	30銭（1926年）

※「値段史年表 明治大正昭和 週刊朝日編」朝日新聞社等を参考に作成。

◆「雪の中を素足でびよんぴよんはねるようにして局へ通ったもので、夜勤を終えて帰るときの足の冷たさには……」

文章には「素足で」とあるが、草履や下駄などを素足で履いていたのであろうと思われる。

## ◆「通信講習所」

中等・高等教育機関に準じる教育を行った官吏養成機関。1921年5月、全国7つの通信局に通信講習所が設置され、1948年（昭和23年）に廃止された。授業料等が無償かつ毎月修学手当が支給されるほか、卒業後は官公庁に職員として採用されることもあり、1925年には入学倍率が6倍を超えた。前身となる修技学校の卒業生に幸田露伴がいる。

## 足袋の季節 舞台探訪



当時の小樽郵便局「東宮行啓記念 小樽区写真帖」小樽区役所 1911年 小樽市立小樽図書館蔵

## 参考図書紹介——物語で広げる・深める



「漫画 君たちはどう生きるか」  
原作 吉野源三郎、漫画 羽賀翔一 マガジンハウス 2017年

友を裏切った罪悪感から塞ぎ込んでしまった純一。それを知った彼の母は、かつて困っているおばあさんに声を掛けられずに後悔した思い出を打ち明ける。「忘れられなくていやな気持ちになる……？」と尋ねた純一に、母は静かに首を横に振り、「そんな自分にお礼を言いたいくらいなのよ……」と晴れやかに答える。（「石段の思い出」あらすじ）

## 教師説話の手引き

教師説話では、後悔や辛いことを受け止め、よりよく生きていこうとする人間の力強さを生徒たちに伝えたい。以下に示すのは、ある女性棋士の記事である。

2017年（平成29年）12月以降、無料通信アプリ「LINE」に送信取り消し機能が搭載される。メッセージの宛先や表現を誤っても、ケアができるようになるが、気軽に取り消せるという点には、ちょっとした後ろめたさを感じている。

私が将棋を始めたのは小学3年のときだった。引き込まれた一番の理由は「待った」のでないルールだった。負けず嫌いで、失敗を受け入れられなかった当時は、ゲームでリセット機能に頼って、不本意な失敗をなかったことにするような子供だった。

だが将棋は違った。実力者の友人に笑われても、手を戻すことは許されない。「負けました」とまで言われたときは、暴れ出しかねない勢いだった。再戦を挑んでも悪手と負けを繰り返し、たくさんの駒を取られ、初めは苦痛だった。

失敗から逃げずに向き合い、その都度、反省もして得られたものは大きく感じられた。決して優秀ではない自分は、多くの失敗、努力を経て教訓や財産に替えられたと今なら思える。

そんな子供のころの、甘えたい、逃げたい気持ちを自覚しているだけに、今回の機能にも抵抗があるのかもしれない。メッセージを簡単に削除できたとしても、失敗した事実は消えない。せめて同じ間違いだけはないよう、対局の着手の前にもう一度読みを入れ直すのと同様に、「送信」を押す前に手を止めてみたい。

出典：「朝日新聞 平成29年11月28日朝刊」  
朝日新聞社「失敗した事実は消えない 香川愛生の駒音だより」香川愛生

香川愛生（かがわまなこ）

女流棋士。1993年4月16日生まれ。2008年、弱冠15歳でプロデビュー。2013年に女流王将を獲得、翌年も王座を防衛し、第35期、第36期女流王将となる。将棋普及のため、テレビイベントなどにも精力的に出演。



学習日 年 月 日

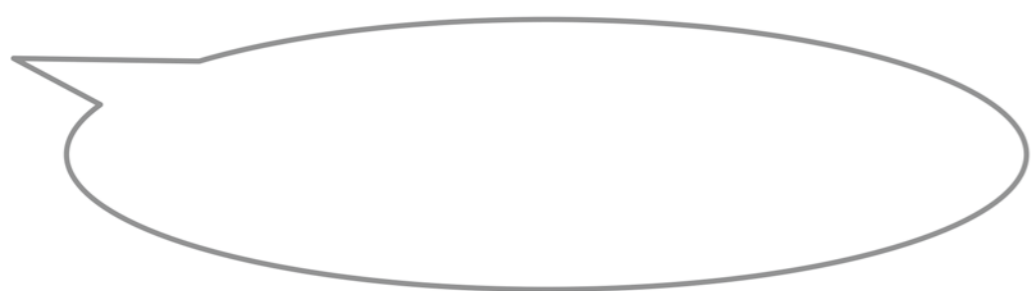
組 番 名前

問い：おばあさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしようがなかった。」のはなぜだろう。  
(自分の考えや友達の影響など)



問い：

つぶやき



ふり返ってみよう

1 教材について、興味をもって読めたか?	A B C D
2 自分の考えを伝えることができたか?	A B C D
3 友達の影響を聞くことができたか?	A B C D
4 授業の内容について、深く考えることができたか?	A B C D

A：意欲的にできた B：できた C：あまりできなかった D：できなかった

## DVD-ROM の紹介

### ● 研究編付属 DVD-ROM

授業支援ツールとして、たくさんご活用いただきたい教科書巻末付録の心情円。もし、なくしてしまったり、破れてしまったりしても大丈夫です。データを収録していますので、プリントアウトしてご活用ください。

また、学校の全体計画、年間指導計画作成の際にご利用いただけるデータや、これまでご要望の多かった全体計画別葉作成資料やワークシートのデータも収録しています。編集が可能ですので、実態に応じて修正してご利用ください。

ほかにも、これまで副読本に収録されていた各地域版の教材を収録します。身近な郷土の教材などがありますので、必要に応じて教科書の教材と差し替えてお使いいただけます。

#### ■ 収録内容 (予定)

全体計画例、全体計画別葉作成資料(各社教科書対応)、年間指導計画作成資料、ワークシート(道徳ノート)、道徳通信、都道府県別地域関連教材、心情円

### ● 場面絵 DVD-ROM

教科書に掲載されている挿絵や写真、図版のデータがそろっています。授業時の黒板掲示や、道徳コーナーなどの掲示にご利用ください。

### ● 朗読 CD

付録も含めた全教材について、プロの声優による朗読音声を収録しています。

また、授業でお使いいただける BGM も加えます。生徒がワークシートに記述する際などに、静かに流すと効果的です。

\*企画中のため、仕様や内容は変更になる場合があります。

道徳と教科等との関連 中学校1学年 年間カリキュラム(例)

教科他/月	4月	5月	6月			
<b>道徳</b>	1「全てがリオでかみ合った」 内容項目 A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志 特質 実話、感動 関連 数学、保健体育、学校行事	4「自分の性格が大嫌い！」 内容項目 A-(3) 向上心、個性の伸長 特質 論議、知見 関連 学級活動	「ふたつの心」 内容項目 +複数内容項目 特質 生活、葛藤 関連 学級活動			
	2「朝市の『おはようございます』」 内容項目 B-(7) 礼儀 特質 随想、知見 関連 英語、学級活動、入学式、対面式	5「いじめに当たるのはどれだろう」 内容項目 B-(9) 相互理解、寛容 特質 生活、知見 関連 学級活動	7「ぼくのふるさと」 内容項目 C-(16) 郷土の伝統と重み、郷土を愛する意 特質 作文、知見 関連 社会、総合的な学級活動			
	3「選手に選ばれて」 内容項目 C-(10) 道徳精神、公德心 特質 生活、葛藤 関連 保健体育、学級活動、生徒会活動	6「傍観者でいいのか」 内容項目 A-(1) 自主、自律、自由と責任 特質 生活、葛藤 関連 学級活動	8「薬毒号に乗って」 内容項目 C-(12) 社会参画、公 特質 作文、感動 関連 家庭、特別活動			
			9「山に来る資格が」 内容項目 A-(2) 節度、節制 特質 生活、葛藤 関連 保健体育、学校行事(林間・臨海学校等)			
<b>学校行事</b>	入学式 A-(4) B-(7) 発育測定 A-(2) スポーツテスト A-(2) A-(3)	校外学習 B-(8) C-(15) 内科・耳鼻科検診 D-(19) 1学期中間考査 A-(4)	中総体 A-(4) B-(眼科・歯科検診) 避難訓練 A-(2) D			
<b>特別活動</b>	新入生歓迎会 B-(6) 新入生オリエンテーション A-(2) 前期専門委員会委嘱式 C-(15) 新年度目標の設定 A-(4) 新年度組織の決定 C-(15)	生徒会総会 A-(1) C-(15) 自分の個性を考える A-(3) 校外学習の準備・計画 C-(15) 学校図書館の利用 A-(5)	中総体社社会 B-(中総体報告会) B-(中央(専門)委員) 健康で安全な生活			
<b>総合的な学習の時間</b>	※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、各学校におけるカリキ					
<b>その他</b>						
<b>会社</b>	<b>教科</b>	<b>時間</b>	<b>4月</b>	<b>5月</b>	<b>6月</b>	
<b>東書</b>	<b>国語</b> C-(17)	年間140時間 週4時間	「風の五線譜」① A-(3) 「話し方はどうかな」② B-(7) 「日本語探検-1」① A-(5) D-(21) 「小さな発見を詩にしよう」③ A-(3)	「文法の窓-1」① 「飛べ かもめ」③ D-(21) 「さんちぎ」④ A-(3) A-(4) A-(5) 「漢字道場-1」①	「会話が弾む質問」③ B-(7) 「オオカミを見る目」 「日本語探検-2」 「文法の窓-2」② 「漢字道場-2」① 「構成を考えて書け」④	
			(基礎編)	「鮮やかに表現する」	「文法とは・言葉の単位」	「文の成分・漢文解
			(資料編)	学習を始める前に		「常識」は変化す

全体計画別葉作成資料：「新しい道徳」と各教科との関連表が簡単に作成でき、更に、それを編集することができます。ご使用の各教科の教科書に対応し、指導時期順と内容項目別の2種類をご準備します。学校、地域の実態に合わせてご活用ください。







板書例

弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)	弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)
弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)	弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)
弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)	弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)
弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)	弱さや向き合い 本時の指導内容 D(22)

本時の指導内容 D(22) よりよく生きる喜び  
 関連する指導内容 A(3) 向上心、個性の伸長  
 ねらい 許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感する中で、自らの弱さを克服し、人間として強く生きていこうとする心情を育てる。

## 弱さや向き合い

(研究編 P.116 参照)

変われないことはあるかな。

内容項目関連教材 D(22)

一年・17 銀色のシャープペンシル

27 花に寄せて

二年・23 人間の強さ・気高さ

本場の私

三年・1 背番号15が歩んだ道―黒田博樹

〈導入〉漫画と同じような経験を振り返る。

導入での漫画活用  
 「変われないこともある」と思っような経験を話し合おう。



「変われないこともあるよ」  
 「俺だって俺は思うよ」

他教科との関連  
 社会科「公民的分野 私たちと経済 社会科「歴史的分野 近代の日本と世界 数学 関数

「聲の形」大今良時

## 足袋の季節

文\* 中江良夫 絵\* 小谷智昭  
 一九二〇〜一九八六 劇作家。「どぶろくの辰」「にしん場」などの著書がある。

①小樽の郵便局で働いていたとき、作者はどのような生活をしていたか。

足袋をはく冬が来ると、必ず私の心の中にいきいきと映し出されてくるおばあさんがある。今から四十年前、小学校を出るとすぐ、小樽のおばをたよって父母のもとをはなれたのだが、当時、私の父は日やとの労働者で、その仕事もたまにしかなく、家は非常に貧しかった。初めて会ったおばだが、「何で来た。」といった冷たい顔をしながらも、それでも私を小樽郵便局に世話をしてくれた。

月給が十四円で、食費としておばが十三円五十銭を取り、残り五十銭の中で頭をかり、ふる銭に当てなければならぬので、それこそ、冬が来てもゴム長どころか足袋を買う余裕もなかった。雪の中を素足でびよんびよんはねるようになって局へ通ったもので、夜勤を終えて帰るときの足の冷たさには、何度泣かされたか分からない。何とかして足袋を買いたい……、いつも、そのことで

小樽は海洋性気候の影響を受けて、北海道の中では比較的冬は暖かいが、冬期の平均気温は零下十度を下回ることもままある。作者の月給は、現在の価値で三三、八二四円(左の参照)。

いっぱいだった。

郵便局の構内に、毎週月水金だけ、大福もちを売りに来るおばあさんがいた。そのおばあさんは、自転車置き場の横に、箱を並べ、いつも寒そうに首巻きで肩を包み、ふきつさらしのカラスのように小さく縮こまっていた。

ある日、上役の言いつけで、十銭玉をにぎってもちを買に行った。おばあさんは、大福もちを五つふくろに入れて、私にわたしながら、「五十銭玉だったね。」と聞いた。自分がわたしたのは十銭玉だったが、そのとき、四十銭あったら足袋が買える、という考えがいなずまのように頭にひらめいて、思わず、「うん。」とうなずいてしまった。

おばあさんは、ちらっと私を見た。そして、「ふんばりなさいよ。」と、ぼそつと一言言って、私の手に十銭玉を四つにぎらせてくれた。

私はにげるようにしてその場を去ったのだが、あのおばあさんは、私がかまかしたのを知っているのだと思うと、居ても立っても居られなかった。その金を返そうと心の中では思うのだが、「四十銭あったら、足袋が買える。」という心に負けて、とうとうそれが果たせなかった。

それから、おばあさんの前に立つことはできず、もちを買いにやらせられるときは、必ず同僚にたのんで、行ってもらった。

あの貧しいおばあさんから金をかすめ取ったという自責の念と、「ふんばりなさいよ。」と言ってくれたのは、私に「これで足袋を買って頑張りなさいよ。」とはげましてくれたのだというあまい



つぶやき

- 生徒が自由に記述。
- 生徒が話し合いやポートフォリオ評価の際、活用することができる。





## 教師用指導書セット内容

- 教師用指導書 研究編（各学年 1 冊）B5 判
- 教師用指導書 指導編【朱書】（各学年 1 冊）AB 判 ※分売あり
- 教師用指導書 ワークシート編【道徳ノート】（各学年 1 冊）B5 判
- 教師用指導書 研究編付属 DVD-ROM
- 場面絵 DVD-ROM
- 朗読 CD



本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7402(中学道徳編集) Fax:03-5390-6014  
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722  
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084  
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp>